

# 平成27年度 全国学力・学習状況調査結果の概要

## 【狭山市立小学校・中学校】

全国学力・学習状況調査は、全国の小中学校を対象にした調査であり、「義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。」（平成25年11月29日 文部科学省実施要領より）ことを目的に実施しているものです。

狭山市教育委員会では、本調査の結果を踏まえ、教育施策等を検証し、改善を図り、児童生徒への学習指導のより一層の充実に努めてまいります。さらに調査結果の概要を保護者並びに地域住民に示すことにより、本市の児童生徒の学力と学習状況の現状や向上策についてご理解をいただき、今後も引き続き、学校教育に対するご支援とご協力をお願いするものです。

なお、この調査により測定できるのは、あくまでも学力の特定の一部であり、この調査から得られたことが全ての教育活動を評価するものではないことをご理解ください。

### 1 調査の概要

- ・実施日 平成27年4月21日（火）
- ・調査対象（1）小学校第6学年 15校（対象児童数 1191人）  
中学校第3学年 9校（対象生徒数 1205人）  
（2）小・中学校の特別支援学級に在籍している児童生徒のうち、本調査の対象となる教科について、以下に該当する児童生徒は、原則として本調査の対象となっていません。
  - ①下学年の内容などに代替して指導を受けている児童生徒
  - ②知的障害者である児童生徒に対する教育を行う特別支援学校の教科の内容の指導を受けている児童生徒
- ・調査事項（1）児童生徒に対する調査
  - ①教科に関する調査
    - 〈国語A、算数・数学A〉…主として「知識」に関する問題
    - 〈国語B、算数・数学B〉…主として「活用」に関する問題
    - 〈理科〉…「知識」、「活用」に関する問題
  - ②質問紙調査…学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙による調査
- （2）学校に対する質問紙調査…学校における指導方法に関する取組等に関する質問紙による調査

## 2 全国・埼玉県・狭山市の平均正答率（教科に関する調査の結果）

（単位％）

### （１）小学校第６学年

#### 【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語A	66.7	68.7	70.0
国語B	60.7	64.2	65.4
算数A	71.5	73.1	75.2
算数B	40.7	43.1	45.0
理科	56.2	59.2	60.8

#### 【学習指導要領の領域等での区分】

国語A	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	52.0	52.6	53.0
書くこと	86.1	85.5	86.0
読むこと	50.5	54.1	55.2
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	74.0	75.7	77.2

国語B	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	—	—	—
書くこと	56.3	59.7	61.1
読むこと	62.8	67.0	68.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—

算数A	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	78.5	78.8	80.1
量と測定	65.9	68.7	71.3
図形	58.9	61.4	64.5
数量関係	80.3	83.5	84.9

算数B	狭山市	埼玉県	全国
数と計算	37.9	40.7	42.4
量と測定	38.2	40.4	41.7
図形	41.4	43.7	45.6
数量関係	39.6	41.0	43.0

理科	狭山市	埼玉県	全国
物質	50.0	55.9	57.4
エネルギー	63.2	63.5	65.6
生命	56.8	59.0	61.2
地球	54.2	57.2	57.8

(2) 中学校第3学年

【教科ごとの区分】

教科	狭山市	埼玉県	全国
国語A	73.8	74.9	75.8
国語B	63.4	64.7	65.8
数学A	61.6	63.2	64.4
数学B	38.7	40.4	41.6
理科	50.6	51.6	53.0

【学習指導要領の領域等での区分】

国語A	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	78.4	79.1	79.7
書くこと	69.7	72.2	73.6
読むこと	84.2	85.0	86.1
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	71.3	72.1	72.9

国語B	狭山市	埼玉県	全国
話すこと・聞くこと	69.1	70.4	72.2
書くこと	32.6	34.1	36.7
読むこと	60.6	61.8	62.6
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—

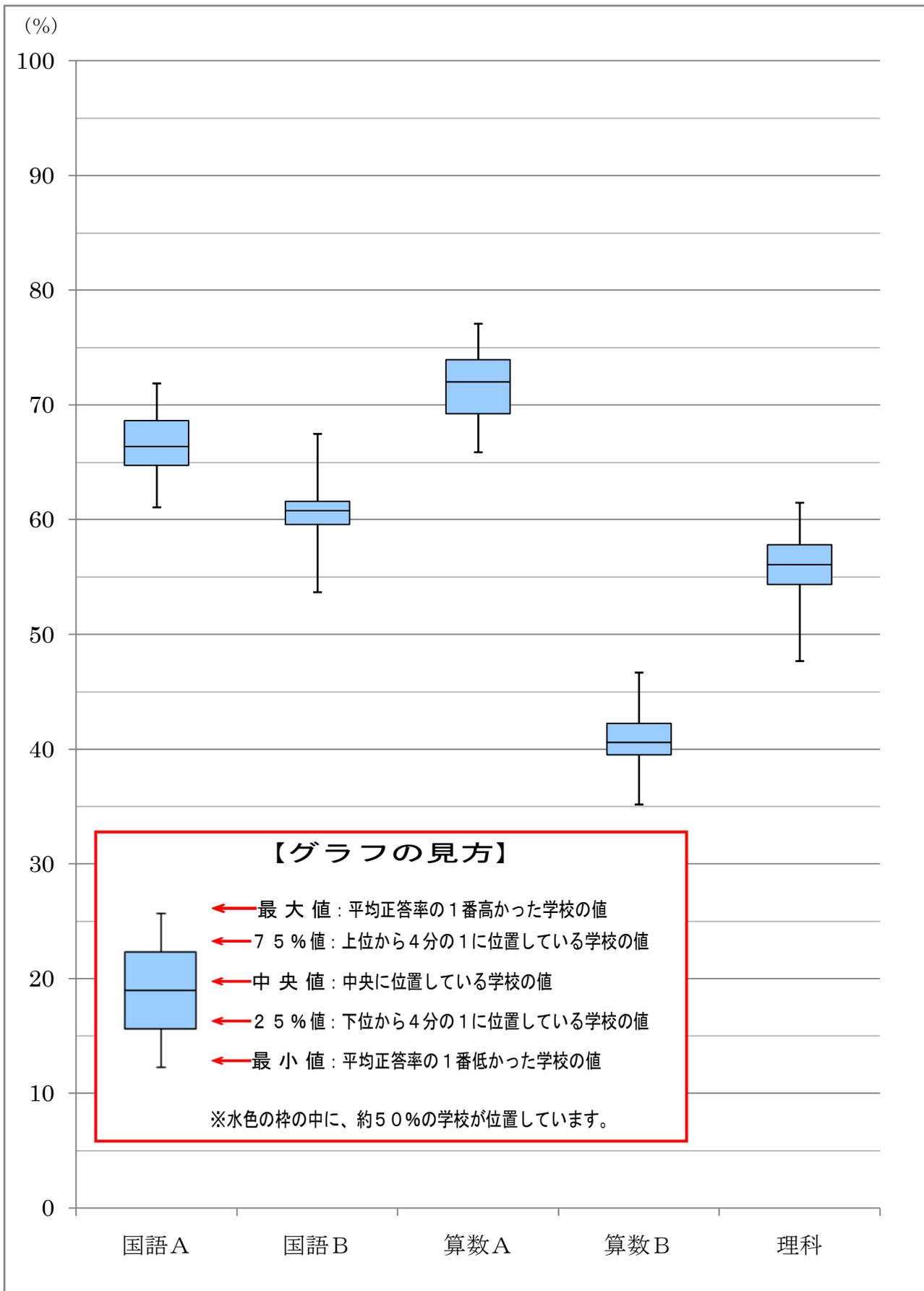
数学A	狭山市	埼玉県	全国
数と式	65.3	66.4	67.7
図形	61.1	62.5	63.4
関数	57.7	60.1	61.7
資料の活用	59.6	61.4	63.0

数学B	狭山市	埼玉県	全国
数と式	59.1	61.0	63.2
図形	36.6	38.5	39.0
関数	28.6	29.8	30.7
資料の活用	26.8	29.5	31.2

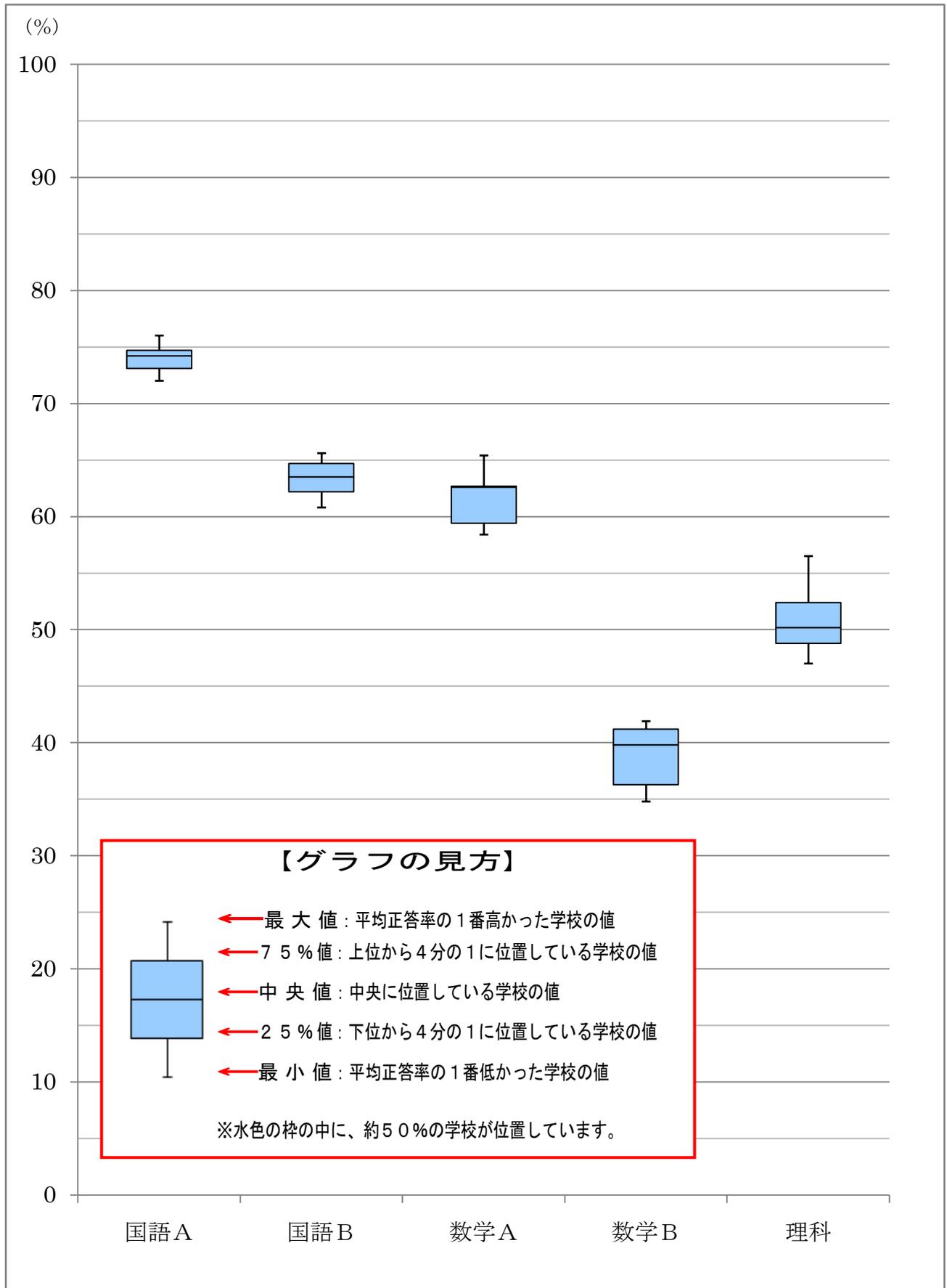
理科	狭山市	埼玉県	全国
物理的領域	45.3	46.7	48.9
化学的領域	52.2	54.1	56.2
生物的領域	59.8	61.2	62.2
地学的領域	47.9	46.9	46.4

### 3 狭山市の各学校の平均正答率の分布状況（教科に関する調査）

(1) 小学校 15校



(2) 中学校 10校



#### 4 質問紙調査の結果

##### (1) 狭山市の児童生徒に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小中学校ともに87項目あり、この中から抜粋しています。

※「当てはまる」及び「どちらかといえば当てはまる」と回答した児童生徒の割合(%)を示しています。

##### 【教科について】

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全 国	狭山市	埼玉県	全 国
国語の勉強は好きですか	61.1	62.5	61.1	61.7	60.0	60.5
国語の授業の内容はよく分かりますか	82.5	84.3	82.0	77.6	77.4	74.3
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	74.2	74.4	65.2	71.0	70.8	59.2
国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか	64.6	68.0	61.2	65.3	63.3	54.0
国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか	75.8	78.3	72.7	73.1	73.1	65.7
国語の授業で文章を読むとき、段落や話のまとまりごとに内容を理解しながら読んでいますか	81.3	82.1	77.2	77.5	77.3	70.6
算数(数学)の勉強は好きですか	67.3	66.7	66.6	54.0	54.1	56.0
算数(数学)の授業内容はよく分かりますか	81.2	82.5	81.0	72.3	72.4	71.6
算数(数学)の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	80.3	82.0	79.6	71.3	71.7	69.8
算数(数学)の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	81.8	83.2	79.1	75.8	73.0	67.5
算数(数学)の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけ(根拠)を理解するようにしていますか	83.1	84.6	80.6	75.8	73.7	70.1
算数(数学)の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	85.1	86.8	83.8	86.1	83.2	80.6
理科の勉強は好きですか	84.2	83.4	83.5	64.1	60.3	61.9
理科の授業の内容はよく分かりますか	89.1	88.8	87.9	67.4	68.6	66.8
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか	30.2	30.2	28.8	30.2	23.7	22.9
理科の授業で、自分の考えや考察をまわりの人に説明したり発表したりしていますか	55.2	58.9	54.9	47.0	43.7	38.4
理科の授業で、観察や実験の結果から、どのようなことが分かったのか考えていますか	81.5	84.3	80.4	73.7	75.2	67.2
理科の授業で、観察や実験の進め方や考え方が間違っていないかを振り返って考えていますか	69.1	73.0	67.1	62.9	62.6	55.0

【生活や自分のことなどについて】

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全 国	狭山市	埼玉県	全 国
朝食を毎日食べていますか	97.4	96.7	95.6	94.4	94.6	93.5
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか	87.8	85.3	79.5	82.5	79.5	75.2
毎日、同じくらいの時刻に起きていますか	93.2	93.2	91.0	93.3	93.2	92.1
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)【2時間以上の割合】	58.7	56.2	59.2	59.7	53.4	55.7
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、 <u>携帯電話やスマートフォンを使ったゲーム含む</u> )をしますか【1時間以上の割合】	54.6	53.3	54.6	59.7	55.1	57.8
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)【1時間以上の割合】	16.3	16.9	16.9	49.2	50.8	47.6
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)【1時間以上の割合】	64.7	63.1	62.7	65.9	70.0	69.0
家の人(兄弟姉妹除く)と学校での出来事について話をしていますか	79.1	82.0	79.5	73.4	74.2	73.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか	67.6	66.5	66.9	43.3	43.0	44.8
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	62.1	68.2	63.9	54.1	56.3	55.9
学校に行くのは楽しいと思いますか	87.3	88.1	87.0	81.8	83.0	82.1
自分には、よいところがあると思いますか	78.0	79.4	76.4	70.0	68.5	68.1
将来の夢や目標を持っていますか	86.0	89.4	86.5	74.0	74.9	71.7
人の役に立つ人間になりたいと思いますか	92.3	93.0	93.7	93.8	92.1	93.7

## (2) 狭山市の学校に対する質問紙調査の結果

※質問事項は、小学校112項目、中学校110項目あり、この中から抜粋しています。

※「よく行っている（行った）」の割合（％）を示しています。

質問事項	小学校			中学校		
	狭山市	埼玉県	全国	狭山市	埼玉県	全国
教科の指導内容や指導方法について近隣の小学校（中学校）と連携（教師の合同研修、教師の交流、教育課程の接続など）を行っていますか	93.3	73.5	66.7	100.0	83.6	75.5
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、ボランティア等による授業サポート（補助）を行いましたか	86.6	62.1	40.6	88.8	29.2	24.2

## 5 考察

### 【教科調査】

#### 〈小学校〉

- ・全ての教科において、平均正答率が全国と比較すると3～4ポイント程度低い。また、無回答率が中学校に比べ小学校はやや高く、調査問題の文章量や45分間の調査に慣れていないことも考えられる。前学年までの学習内容を復習する時期に過去の調査問題を活用することが必要である。
- ・国語A・Bでは、学習指導要領の領域等での区分の「読むこと」で全国との差が5ポイント程度低く、長文の読み取りに課題がある。文章の読み取りは他の教科等でも基本となるので、日頃からの読書活動の推進並びに授業では言語活動の充実が必要である。
- ・学校間の分布の様子から、どの教科においても学校間に10ポイント以上の差があった。各校が本調査の結果を分析するとともに、身に付いていない部分については、確実に定着を図る必要がある。

#### 〈中学校〉

- ・全ての教科において、全国と比較すると2ポイント程度低い。学校間の差については、国語が4ポイント程度、数学が7ポイント程度、理科が9ポイント程度の開きがあった。小学校と同様に、各校が本調査の結果を分析するとともに、身に付いていない部分については、確実に定着を図る必要がある。
- ・国語A・Bともに学習指導要領の領域等での区分の「書くこと」に全国との差が4ポイント程度あった。年間指導計画に基づき、国語科を中心に各教科においても目的意識を持たせ、書く活動の充実を図る必要がある。

#### 〈小・中学校〉

- ・理科は、全ての設問が実験や観察の様子からの問題であり、児童生徒が直接、授業で同じような経験をしているかが問われている。教科書のみで授業を展開するのではなく、一人一人の児童生徒に実験や観察を通した主体的な学びが必要である。

### 【質問紙調査】

- ・ 1日にテレビ等を2時間以上見たり、ゲームを1時間以上行ったりしている児童生徒が半数以上いる。また、中学校では、1日に携帯電話等での通話やメールを1時間以上行っている生徒が約半数いる。特に、ゲームについては、1日に4時間以上行っている児童生徒が10%前後おり、教科に関する調査結果との相関関係が顕著に表れている。児童生徒への直接的な指導とともに、保護者とも認識を共有し、情報モラルを向上させるとともに、基本的な生活習慣の確立を更に進めていく必要がある。
- ・ 学校質問紙調査の中で、小中連携やボランティアによる授業サポートについては、全国や埼玉県に比べ大きく上回っている。本市の特色ある教育活動の一端である小中連携事業及び学校応援団や学校支援ボランティアセンター（SSVC）の取組が数値として表われている。今後も地域人材による協力体制を維持するとともに、児童生徒一人一人の学力の更なる向上に向けて、より充実した取組になるよう学校間の連携や保護者及び地域との連携を図っていく必要がある。

### 6 今後の取組等 [狭山市教育委員会「学力向上の取組」参照](#)

<http://home.sayama-stm.ed.jp/center/index/gakuryoku/index.htm>